

◎生活道路を安全に整備すべき

問 道路が傷んで、事故が起きているが、その件数とそれらへの対応は。

答 合併した平成17年度から現在まで13件の事故が発生し、市が加入する保険で対応している。補修対応は、市で応急補修し、必要に応じ専門業者へ依頼している。

問 道路の破損状況の情報提供者、サポーター制度の導入はどうか。

答 袋井郵便局と道路破損の情報提供について覚書を締結している。今後も道路パトロールの強化に努めるとともに、各自治会へも、情報提供してもらえよう、呼びかけていきたい。

問 道路の路線名のほかに、愛称を付けたらどうか。

答 看板設置などの費用はかかるものの、地域の皆さんから親しまれ、道路愛護につながることから、今後、地域の方からの声があれば、検討していきたい。



応急修繕された道路

常任委員会レポート

平成20年度一般会計・特別会計・企業会計の各決算や平成21年度一般会計・特別会計の補正予算などの議案を各常任委員会で審査しました。

総務文教委員会

Q 分庁舎整備事業は、具体的にどのように整備するのか。

A 旧100円ショップは、1階に市民にも利用できるギャラリーなどのスペースを、2階は、会議室や倉庫とする。旧シューズショップは、北側半分をギャラリーや物置等とし、南側は倉庫にする。



分庁舎として整備される旧100円ショップ

Q 日本語教室支援者養成事業は、どのような事業で、日本語教室は何人ぐらいを予定しているのか。

A 在住外国人のための日本語教室の講座をコーディネートする方の養成をすることを目的としている。10月早々にハローワークで募集をかけて人選していきたい。日本語教室の受講者は現時点では何人と決めていないが、なるべくたくさんの講座を開催できるようにしたいと考えている。